GPT-6.1 Terra：知財実務における特徴とモデル使い分けガイド

GPT-6.1 Terra（中位モデル）：高速・高効率な初期処理

最上位モデルの10分の1の低価格



100万トークンあたり
入力1ドル・出力5ドル

3倍超の処理速度



大量処理に最適



高い図面解釈力と画面操作能力を保持



視覚推論やPC画面操作で上位モデルに迫る公表値を記録

⚠ 課題

法律・高度な推論タスクには限界あり



法律調査ベンチマークでは86モデル中58位にとどまる

知財実務での役割分担（ルーティング）

先行技術調査・図面対比



スクリーニング・一次処理



権利化・判断

明細書・中間処理



Terra



実施例記述・初稿作成



クレーム設計



反論構築

権利判断・FTO



Terra



データ抽出



文言解釈



最終結論

スクリーニング・一次処理　　権利化・判断

上位モデル・専門家（人）：最終判断と高度な法的思考



クレーム起案や反論構築は上位モデル

最終判断は人が行う



複雑な法的判断





未公開発明の入力時はデータ処理地域・契約形態の確認が必須

API利用時のデータレジデンシー設定や法人契約の条件確認が必要

Gemini Notebook